

Sun Ray Connector for Windows OS 2.
I gYfg; i]XY
!>UdUbYgY!
.

February 2011

ORACLE®

Copyright © 2011, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

This software and related documentation are provided under a license agreement containing restrictions on use and disclosure and are protected by intellectual property laws. Except as expressly permitted in your license agreement or allowed by law, you may not use, copy, reproduce, translate, broadcast, modify, license, transmit, distribute, exhibit, perform, publish, or display any part, in any form, or by any means. Reverse engineering, disassembly, or decompilation of this software, unless required by law for interoperability, is prohibited.

The information contained herein is subject to change without notice and is not warranted to be error-free. If you find any errors, please report them to us in writing.

If this software or related documentation is delivered to the U.S. Government or anyone licensing it on behalf of the U.S. Government, the following notice is applicable:

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

This software is developed for general use in a variety of information management applications. It is not developed or intended for use in any inherently dangerous applications, including applications which may create a risk of personal injury. If you use this software in dangerous applications, then you shall be responsible to take all appropriate fail-safe, backup, redundancy, and other measures to ensure the safe use of this software. Oracle Corporation and its affiliates disclaim any liability for any damages caused by use of this software in dangerous applications.

Oracle is a registered trademark of Oracle Corporation and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

This software and documentation may provide access to or information on content, products, and services from third parties. Oracle Corporation and its affiliates are not responsible for and expressly disclaim all warranties of any kind with respect to third-party content, products, and services. Oracle Corporation and its affiliates will not be responsible for any loss, costs, or damages incurred due to your access to or use of third-party content, products, or services.

Sun Ray Connector for Windows OS 2.3 ユーザーズガイド

目次

目次

- 目次
 - モジュール
 - 使用 (すべてのトピック)
 - Windows セッションを開始する方法
 - 例
 - Java Desktop System (JDS) 内で Windows セッションを開始する方法
 - Windows セッションをロックする方法
 - `uttsc` のマニュアルページへのアクセスを設定する方法
 - SRWC コマンドへのアクセスをセットアップする方法
 - Windows セッションを開始するデスクトップショートカットの作成方法
 - ローカルドライブのマッピング
 - Windows セッションの接続に関する問題のトラブルシューティング
 - 問題: タイムゾーン値を予想できない
 - 接続エラーメッセージ
 - 用語集
 - A
 - B
 - C
 - D
 - E
 - F
 - G
 - H
 - I
 - K
 - L
 - M
 - N
 - O
 - P
 - R
 - S
 - T
 - U
 - V
 - W
 - X
 - Y
-

モジュール

目次

- Windows セッションを開始する方法

- 例
- Java Desktop System (JDS) 内で Windows セッションを開始する方法
- Windows セッションをロックする方法
- uttsc のマニュアルページへのアクセスを設定する方法
- SRWC コマンドへのアクセスをセットアップする方法
- Windows セッションを開始するデスクトップショートカットの作成方法
- ローカルドライブのマッピング
- Windows セッションの接続に関する問題のトラブルシューティング
 - 問題: タイムゾーン値を予期できない
 - 接続エラーメッセージ

使用 (すべてのトピック)

Windows セッションを開始する方法

Sun Ray Windows Connector ソフトウェアをインストールすると、Windows サーバーから Sun Ray クライアント上の Windows セッションを開始することができます。

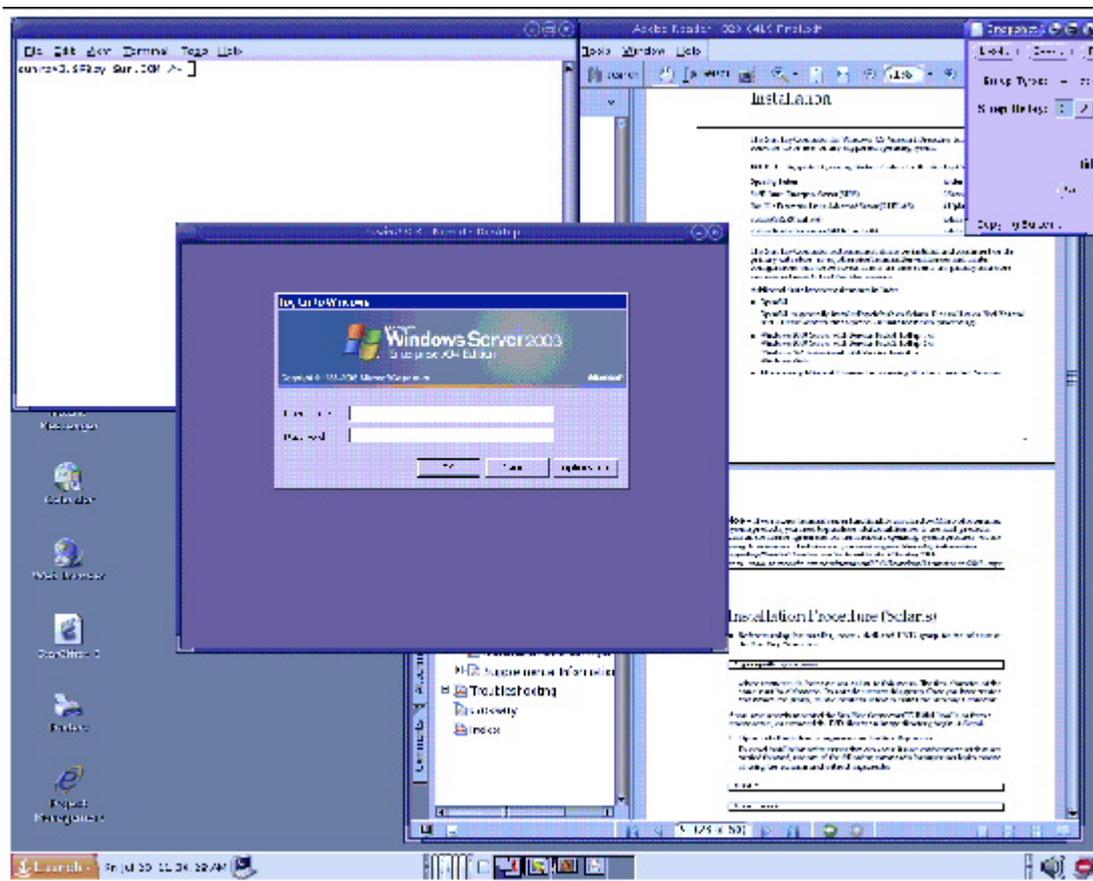
1. Sun Ray クライアントにログインします。
2. Windows システムで Windows セッションを開始します。

```
% /opt/SUNWuttsc/bin/uttsc <options> <hostname.domain>
```

Windows サーバーが Sun Ray

クライアントと同じドメインに存在する場合、ドメイン名を指定する必要はありません。ただし、必要に応じて <hostname.domain> の代わりに完全な IP アドレスを指定できます。

uttsc コマンドを、Windows サーバーの名前またはアドレス以外のオプションを指定しないで発行すると、次の図に示すように、Sun Ray クライアント上に Windows セッションが表示されます。



デフォルトの画面サイズは 640 × 480 ピクセルです。

セッションを全画面モードで表示する場合、または他の方法で設定を変更する場合は、uttsc(1) のマニュアルページを参照してください。

uttsc コマンドを使用してセッションを複数のモニタに表示するには、Sun Ray DTU で XINERAMA を有効にする必要があります。

例

次のコマンドを使用して、UNIX ユーザー ID <user> でログインし、24 ビットカラーを有効にし、解像度を 1024 x 768 に設定し、サウンド品質を「high」に設定し、Windows サーバー 192.168.1.20 に接続します。

```
uttsc -u <user> -A 24 -g 1024x768 -r sound:high 192.168.1.20
```

次のコマンドを使用して、Unix ユーザー ID <user> でログインし、フルスクリーンを有効にし、24 ビットカラーを有効にし、RDP プルダウンメニューへのアクセスを無効にし、192.168.1.20 にある Windows サーバーに接続します。

```
uttsc -u <user> -A 24 -m -b 192.168.1.20
```

次のコマンドを使用して、Unix ユーザー ID <user> でログインし、24 ビットカラーを有効にし、解像度を 1024 x 768 に設定し、サウンド品質を「high」に設定し、二要素認証を有効にし、192.168.1.20 にある Windows サーバーに接続します。

```
uttsc -u <user> -A 24 -g 1024x768 -r sound:high -r scard:on 192.168.1.20
```

次のコマンドを使用して、Unix ユーザー ID <user> でログインし、24 ビットカラーを有効にし、解像度を 1024 x 768 に設定し、サウンド品質を「high」に設定し、ホームディレクトリを Windows の H: ドライブにマップし、192.168.1.20 にある Windows サーバーに接続します。

```
uttsc -u <user> -A 24 -g 1024x768 -r sound:high -r disk:H=<path> 192.168.1.20
```

次のコマンドを使用して、スマートカード認証によるフルスクリーンセッションを有効にし、Windows サーバー <windows_server> に接続します。

```
uttsc -r scard:on -m <windows_server>
```

Java Desktop System (JDS) 内で Windows セッションを開始する方法

Solaris オペレーティングシステム用の Sun Java Desktop System (JDS) 統合パッケージは、uttscwrap という CLI を提供します。この CLI は、Solaris 10 上での Sun Ray Windows Connector と JDS デスクトップとの統合を向上させます。JDS 統合パッケージは、Sun Ray Windows Connector ソフトウェアイメージの Supplemental フォルダに含まれています。

さまざまな Windows システム上で Windows セッションまたは Windows アプリケーションのいずれかを起動するようにデスクトップまたはメニュー起動プログラムが定義されているときは、uttscwrap を使用します。

uttscwrap を実行すると、パスワードベースの認証に使用する資格 (username/domain/password) を入力できるログインダイアログが表示されます。資格は、続いて実行される処理のダイアログから保存できます。次回の起動時には、保



注

uttscwrap

は、パスワードベースの認証で資格をキャッシュすることのみを目的として設計されています。スマートカードの認証では、Ray Windows Connector を直接使用してください (/opt/SUNWuttsc/bin/uttsc)。

資格は、Windows

サーバーとアプリケーションの組み合わせごとに、別々に保存されます。この仕様により、次のようなさまざまな資格を保存できます。

- 同一のサーバー上の異なるアプリケーション用
- 異なるサーバー上の異なるアプリケーション用

- アプリケーションが起動していない異なるサーバーセッション用

サーバーやアプリケーション用に新規に保存された資格はいずれも、以前に保存された資格に取って代わります。

手順

uttscwrap を使用して Sun Ray Windows Connector を起動するには、uttsc コマンド行で指定するものと同じ引数を uttscwrap コマンド行に指定します。

1. Sun Ray クライアントにログインします。
2. Windows システムで Windows セッションを開始します。

```
% /opt/SUNWuttscwrap/bin/uttscwrap <options> <hostname.domain>
```

Windows システムが Sun Ray

デスクトップと同じドメインに存在する場合、ドメイン名を指定する必要はありません。ただし、必要に応じて <hostname.domain> の代わりに完全な IP アドレスを指定できます。

Windows セッションをロックする方法

ここでは、ユーザーのセッションが特定の Sun Ray DTU から移動したときに、Windows セッションをロックする方法を説明します。



注

この機能の実装は、デフォルトでは使用できないテクノロジーと Sun Ray の非公開インタフェースに依存します。また、特定の Sun Ray 公開インタフェースを使用目的以外の目的で使用します。これらの理由から、この機能はサポート対象ではありません。

セッションのロックを実装するために一般的に使用される方法は、xvkbd (utaction によって起動) を使用してロック画面のキーストロークを Windows セッションに送信することです。

utaction は、Xsession.d または xinitrc.d スクリプトから次のように起動できます。

```
#!/bin/sh
XVKBD=/usr/openwin/bin/xvkbd
/opt/SUNWut/bin/utaction -d "$XVKBD -text '\M1'" &
```

デフォルトでは xvkbd を使用できないため、例の XVKBD の設定を変更し、xvkbd のインストール場所を正確に指定する必要があります。



注

キーストロークシーケンスの \M1 は、Windows 2003/XP セッションの Windows ロックを有効にします。その他のバージョンの Windows では、別のキーストロークシーケンスを置換する必要がある場合があります。

uttsc のマニュアルページへのアクセスを設定する方法

man コマンドに直接アクセスできるようにするには、MANPATH 変数に次のエントリを追加します。

```
/opt/SUNWuttsc/man
```

Java Desktop System (JDS) 統合パッケージをインストールしている場合 (Solaris のみ) は、次のエントリも追加する必要があります。

```
/opt/SUNWuttscwrap/man
```

この操作により、ユーザーは次のコマンドを入力してマニュアルページを表示できるようになります。

```
% man uttsc
```

SRWC コマンドへのアクセスをセットアップする方法

SRWC コマンドに直接アクセスできるようにするには、PATH 変数に次のエントリを追加します。

```
/opt/SUNWuttsc/bin, /opt/SUNWuttsc/sbin, /opt/SUNWuttscwrap/bin
```

/opt/SUNWuttscwrap/bin パスは、ユーザーが **JDS 統合パッケージ** を使用している場合のみ必要となります。

Windows セッションを開始するデスクトップショートカットの作成方法

現時点では、Sun Ray Windows Connector にグラフィカルユーザーインターフェースは用意されていません。ただし、ランチャーの設定により、Windows セッションに接続するためのデスクトップアイコンやメニューアイテムをユーザーに提供することは可能です。

ランチャーの設定方法の詳細については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

ローカルドライブのマッピング

どのファイルも Sun Ray 環境から Windows 環境にマウントしてマップできます。Sun Ray サーバーの USB ポートに接続されている、フラッシュドライブなどのリムーバブルメディアデバイスのファイルシステムは、`utstaged` コマンドを使用して Windows 環境にマップされ、ローカルにマウントされたドライブとして表示されます。



注

Windows のファイル名に `:*?"<>|` を使用することはできません。リダイレクトされる UNIX フォルダに、これらの文字を使用したファイル名が含まれていないことを確認してください。

Sun Ray DTU に接続されている USB デバイスに Windows セッションからアクセスする方法については、「**USB デバイスリダイレクションについて**」を参照してください。

Windows セッションの接続に関する問題のトラブルシューティング

問題: タイムゾーン値を予期できない

`uttsc` は、`/usr/share/lib/zoneinfo/tab/zone_sun.tab` (Solaris の場合) および `/usr/share/zoneinfo/zone.tab` (Linux の場合) に記述されているタイムゾーンのみを有効なゾーンと見なし、これらを Windows セッションで等価なタイムゾーンに変換します。上記のファイルに定義されていない値がタイムゾーンに設定されていた場合、Windows セッションのタイムゾーン値は予期できません。

接続エラーメッセージ

メッセージ	コメント
Error (%d): Unable to establish data store connection.	Sun Ray Windows Connector は Sun Ray データストアへの接続を開けませんでした。SRDS が Sun Ray ソフトウェア用に構成されていて、到達可能であることを確認してください。また、Sun Ray Windows Connector を起動する前に、構成が正常に行われていることを確認してください。

Error(%d): Unable to determine SRSS version.	SRWC は SRSS のバージョン情報を判断できませんでした。SRSS 4.2 以降がインストールされ、正常に構成されていること
Error(%d): Unable to launch Sun Ray Connector. Only SRSS 4.2 and above are supported.	SRWC 2.3 は、SRSS 4.2 以降でのみサポートされています。正しいバージョンの SRSS がインストールされていることを確
Sun Ray session is not connected, please try again.	接続済みの有効な Sun Ray セッションから SRWC が起動されることを確認してください。
Cannot obtain DTU MAC address.	SRWC は、Sun Ray 認証マネージャに接続して DTU MAC アドレスを取得することができませんでした。このデーモンが至
Error: Sun Ray Token ID cannot be determined. Sun Ray Connector can only be launched from a Sun Ray session.	Sun Ray 以外のセッション (telnet またはコンソールなど) から SRWC が起動されました。SRWC は、接続済みの DTU セッ
Unable to create new audio device. Using default audio device.	utaudio は、新しいオーディオデバイスの作成に失敗しました。詳細については、utaudio によって記録されたログメ は、セッションのデフォルトのオーディオデバイスを使用しようとしています。
Device <device_name> is not allocated. Audio will not work in this session. Continuing..	Solaris Trusted Extensions プラットフォームでは、デフォルトのオーディオデバイスが割り当てられていない場合、SRWC は新しいオーディオデバイスまたはデフォルトのオーディオデバイスを使用できません。この場合、SRWC セッションは続行されますが、オーディオはサポートされません。
Warning. Printer preferences will not be stored. Please run uttscadm to complete configuration before launching Sun Ray Connector.	Sun Ray Windows Connector を起動する前に uttscadm が実行されていない場合、Windows システムによって送信されたプリンタの設定は保存されないため、後で再使用できません。このエラーは致命的なもので

Unable to connect to Sun Ray Connector Proxy. Please ensure uttscadm has been run before launching the Sun Ray Connector.	プロキシデーモン (uttscpd) が起動され実行中であることを確認してください。uttscadm が実行および構成される前: が起動された場合、Sun Ray Windows Connector プロキシは到達不可能になります。このメッセージは、Solaris システム
Unable to launch Sun Ray Connector. Please ensure utconfig has been run before launching the Sun Ray Connector.	utconfig を使用した Sun Ray データストアの構成を行わずに、Sun Ray Server Software から Sun Ray Windows Connecto

用語集

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

リストに用語を追加する場合は、このページの下部にあるコメントを追加するためのリンクを使用してください。

A

用語	説明
AAC	先進的音響符号化 (Advanced Audio Coding)。比較的低いビットレートで比較的品質の高い配信が可能な、「不可逆」
エイリアストークン	エイリアストークンを使用すると、カード所有者が複数の物理トークンによって同じ Sun Ray セッションにアクセスするユーザーが重複するスマートカードを必要とする場合に便利です。
ALP	Sun Appliance Link Protocol。Sun Ray サーバーと DTU 間で通信を行うための、ネットワークプロトコル群。
AMGH	自動マルチグループホットデスク。「リージョナルホットデスク」を参照。
AH	認証ヘッダー (Authentication headers)。IPSec 実装の一環として使用されます。
認証ポリシー	認証マネージャーは選択された認証モジュールを使用して、どのトークンが有効であるか、どのユーザーがトークン
認証トークン	認証マネージャーは Sun Ray セッションに対するアクセスの許可や拒否を行うためにすべてのトークンを使用しますが、通常、この用語はユーザ

B

用語	説明
バックプレーン帯域幅	「スイッチファブリック」と呼ばれることもあります。スイッチのバックプレーンとは、入力ポートから出力ポー
バリア機能	管理者がバリア機能を設定することで、クライアントで現行バージョンより古いバージョンのファームウェアをダ
以降が動作する各 Sun Ray サーバーの DHCP テーブルにデフォルトで定義される。	
bpp	ビット/ピクセル。

C

用語	説明
CABAC	コンテキスト適応型 2 値算術符号化 (Context-adaptive binary arithmetic coding)。H.264/MPEG-4 AVC ビデオのエンコーディングで使用される、「劣化のない」エントロピー符号化方式。
CAM	アクセス制御モードで、キオスクモードとも呼ばれます。SRSS 4.0 では、CAM モジュールは書き直された Kiosk モジュールに置き換えられました。
カードリーダー	「トークンリーダー」を参照。
カテゴリ 5	LAN で最も一般的に使用されている配線のタイプ。音声およびデータの両方に有効 (最大 100 MHz) で、「cat 5」とも呼ばれます。
クライアントサーバー	ネットワークサービスとそのサービスのユーザープロセス (プログラム) を表す一般的な用語。
コーデック	デジタルデータのストリームおよび信号の符号化または復号化の機能を持つデバイスまたはプログラム。
コールドリスタート	「コールドリスタート」ボタンを押すと、Sun Ray サービスの再起動の前に特定のサーバー上ですべてのセッションが終了する。「リスタート」を参照。
カットスルースイッチ	このスイッチは、MAC アドレスを読み取るとすぐにアウトバウンドポートに受信フレームの転送を開始し、同時に残りのフレームの受信

D

用語	説明
DHCP	動的ホスト構成プロトコル (Dynamic Host Configuration Protocol)。自動的に IP アドレスと初期パラメータを DTU に配布する方法。
ドメイン	個別のシステムとして、OS を起動でき、ほかのあらゆるボードから独立して動作できる1枚以上のシステムボードのセット。
DTU	デスクトップターミナルユニット (Desktop Terminal Unit)。Sun Ray デスクトップユニットの以前の名称。このユニットは、Sun Ray thin クライアント、Sun Ray ultra-thin クライアント、および Sun Ray 仮想ディスプレイ端末とも呼ばれます。

E

用語	説明
ESP	カプセル化セキュリティーペイロード (Encapsulating Security Payloads)。IPSec の一部として使用されます。
Ethernet	IEEE 802.3 規格群によって定義されている物理レベルおよびリンクレベルの通信機構。
Ethernet アドレス	コンピュータシステムやインタフェースボードを製造したとき、それらのハードウェアに割り当てられる一意のアドレス。「M. アドレス」も参照。
Ethernet スイッチ	入力ポートから出力ポートにパケットをリダイレクトする装置。Sun Ray インターコネクトファブリックの 1 コンポーネントとして使用可能。

F

用語	説明
フェイルオーバー	障害の発生したサーバーから、正常に機能しているサーバーに、自動的にプロセスを転送する処理。
フェイルオーバーグループ	ネットワークまたはシステムの障害時にもサービスが継続するように構成された 2 台以上の Sun Ray サーバーと省略されることがあります。高可用性という用語は、このような構成のメリットを指します。フェイルオー

フィリングステーション	Sun Ray サービス用に構成されている任意のプライベートネットワーク、または Sun Ray DHCP サーバーが唯一のサーバーである共有ネットワーク。古いバージョンのファームウェアを使用しているサーバーに接続するためのファームウェアがダウングレードされる場合、フィリングステーションに接続して新しいファームウェアを
ファームウェアバリア	「バリア機能」を参照。
FOG	「フェイルオーバーグループ」を参照。
fps	フレーム数/毎秒
フレームバッファ	ビデオディスプレイを駆動するビデオ出力装置。「仮想フレームバッファ」を参照。

G

用語	説明
GEM	ギガビット Ethernet。
グループ全体	フェイルオーバーグループ全体。

H

用語	説明
H.264	広範なビットレートおよび解像度のために MPEG および VCEG によって開発された、ビデオ圧縮のための規格。MPEG-Part 10 と呼ばれる。
HA	高可用性 Sun Ray HA グループは、以前から、フェイルオーバーグループと呼ばれています。
ヘッド	画面、ディスプレイ、またはモニターを意味する口語的な用語。特に、「マルチヘッド」機能のように、複数のモニタ
高可用性	「フェイルオーバー」を参照。高可用性という用語は、このような構成のメリットを指します。フェイルオーバーグル
ホットデスク	ユーザーはスマートカードを取り出して、同じサーバーグループ内のほかの DTU に挿入することができます。ユーザーのセッションでは、ユーザーのウィンドウ環境と現在のアプリケーションに、複
ホットキー	DTU、または Sun Ray サーバーで実行されている Sun Ray セッション内から、特定の動作をトリガーするために使用さ では、ホットキーを使用して「設定」画面を表示する。
ホットプラグ可能	電源が投入されているシステムに、ハードウェアコンポーネントを挿入したり、取り外したりできること。Sun Ray DTU デバイスはホットプラグに対応しています。

I

用語	説明
アイドルセッション	Sun Ray サーバー上で実行されているが、ユーザー (スマートカードトークンまたは擬似トークンによって識別された) がログインしていないセッション。
IKE	インターネット鍵交換 (Internet Key Exchange)。IPSec のコンポーネントです。
インターコネクティブファブリック	Sun Ray サーバーのネットワークインタフェースカードと Sun Ray DTU を接続するためのすべてのケーブルおよびスイッチ。
イントラネット	インターネットプロトコルを使用した、組織内限定のプライベートネットワーク。
IP アドレス	ネットワーク上で、各ホストまたはその他のハードウェアシステムを識別する一意の番号。IP アドレスは、ピリオドで区切られた 4 つの整数で構成される。各 10 進数の整数は、0 ~ 255 (たとえば、129.144.0.0)。
IP アドレスのリース	永続的にではなく特定の時間だけコンピュータシステムに IP アドレスを割り当てること。IP アドレスのリースは、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) によって管理される。Sun Ray DTU の IP アドレスは、割り当てられたアドレスである。

IPSec	インターネットプロトコル (セキュリティ) のプロトコルセット。認証ヘッダー (Authentication Header、AH) およびカプセル化セキュリティペイロード (Encapsulating Security Payload、ESP) を通じてデータパケットをエンコードしたり、鍵交換機構 (IKE) を提供したりすることによって、安全な IP 通信を目指します。
-------	---

K

用語	説明
キオスクモード	UNIX ログインを行わず、匿名ユーザーアカウントでセッションを実行するための機能。キオスクセッションは、事前構成された SRSS では、キオスクモードという用語は CAM と同じ意味で使用されていました。SRSS 4.0 以降、このモジュールは完全

L

用語	説明
LAN	ローカルエリアネットワーク。接続用のハードウェアおよびソフトウェアを通じて相互に通信可能な、きわめて近接した
レイヤー 2	データリンク層。OSI (Open Standards Interconnection) モデルには 7 つの層が含まれます。第 2 層は、ネットワーク、クライアント、サーバー間の通信回線を操作するプロシーチャーとプロトコルに関連している。
ローカルホスト	アプリケーションソフトウェアが実行している CPU またはコンピュータ。
ローカルサーバー	DTU から見て、LAN の中でもっとも近いサーバー。

M

用語	説明
MAC アドレス	Media Access Control。MAC アドレスとは、製造されたときに、各 LAN インタフェースカード (NIC) にプログラムされたパケットは、パケットのフィルタリング、処理、および転送を行うブリッジによって使用される。8:0:20:9e:51:cf 1a
管理対象オブジェクト	Sun Management Center ソフトウェアによって監視されるオブジェクト。
モバイルトークン	モバイルセッションが有効な場合、この擬似トークンによって、ユーザーはスマートカードを使用せずに別の場所
可動性	Sun Ray Server Software 用に、サーバーグループ内でユーザーの DTU 間移動を有効にするセッションのプロパティ
モジュール	認証モジュールは、サイトごとに選択可能なさまざまな認証ポリシーを実行するために使用される。
MPPC	Microsoft Point-to-Point Compression プロトコル。
MTU	最大伝送単位 (Maximum Transmission Unit)。ネットワークで伝送可能な最大パケットのバイト数を指定するために
マルチキャスト	フェイルオーバー環境で、Sun Ray サーバーが Sun Ray ネットワークインタフェースを通して相互に通信すること
マルチヘッド	「ヘッド」を参照。
多重化	1 つの通信回線で複数チャネルを伝送する処理。

N

用語	説明
NAT	「ネットワークアドレス変換」を参照。
ネームスペース	指定する ID が一意でなければならない名前名のセット。
ネットワークアドレス	ネットワークを指定するために使用される IP アドレス。

ネットワークアドレス変換	ネットワークアドレス変換 (NAT)。一般的に、ネットワークアドレス変換には、複数のマシン (この場合、アドレスを共有できるようにするために、ポート番号のマッピングが必要になります。
ネットワークインタフェース	ネットワーク上のコンピュータシステムへのアクセスポイント。各インタフェースは物理デバイスに
ネットワークインタフェースカード	NIC と省略されます。ネットワークデバイスにワークステーションまたはサーバーをリンクさせるハ
ネットワーク応答時間	ネットワーク上を移動する情報に関連する応答時間。音声、ビデオ表示、およびマルチメディアアプ
ネットワークマスク	与えられたインターネットプロトコルアドレスから、ローカルサブネットアドレスとその他の部分をネットワーク用のネットワークマスクの例として、255.255.255.0 が挙げられます。
ネットワークプロトコルスタック	プロトコルのネットワーク群。スタックと呼ばれる階層構造になっている。TCP/IP は、Sun Ray プロ
NIC	ネットワークインタフェースカード。
非スマートカード可動性 (non-smart card mobility)	スマートカードに依存しない Sun Ray DTU 上のモバイルセッション。NSCM には、擬似トークンを許
NSCM	「非スマートカード可動性」を参照。

O

用語	説明
OSD	On-screen display。Sun Ray DTU は、OSD アイコンを使用して、起動や接続に問題が発生した可能性があることをユーザーに警告します。

P

用語	説明
PAM	プラグイン可能認証モジュール (Pluggable Authentication Module)。使用可能なユーザー認証サービスの柔軟な選択をシ
PAM セッション	すべての PAM の項目、データその他に関連付けられる単一 PAM ハンドルおよびランタイム状態。
パッチ	コンピュータシステム上でソフトウェアの正常な実行を妨げる、既存のファイルおよびディレクトリの更新と置換を行う
PCM	パルス符号変調。
ポリシー	「認証ポリシー」を参照。
ポップアップ GUI	Sun Ray DTU の構成パラメータを付属のキーボードから入力するための機構。
ポート	(1) コンピュータシステムの内部および外部にデータを渡す場所。(2) 1 つの宛先ホストに対する複数同時接続を識別する
POST	電源投入時自己診断
電源再投入 (power cycling)	電源コードを使用した DTU の再起動。
擬似セッション	スマートカードトークンではなく擬似トークンに関連付けられている Sun Ray セッション。
擬似トークン	スマートカードを使用せずに Sun Ray セッションにアクセスしているユーザーは、擬似トークンと呼ばれる DTU の組み

R

用語	説明
RDP	Microsoft Remote Desktop Protocol。
リージョナルホットデスク	以前は自動マルチグループホットデスク (Automatic Multigroup Hotdesking、AMGH) と呼ばれていました。こよりも広範なドメインにまたがり物理的に離れた場所から、自分のセッションにアクセスすることができます

RDS	リモートデスクトップサービス (Remote Desktop Services)。以前は、ターミナルサービスと呼ばれていました。
RHA	リモートホットデスク認証。ユーザーが既存のセッションに再接続 できるようになる前に SRSS 認証を必要と utppolicy コマンドを使用して管理できます。
restart	Sun Ray サービスを再起動するには、 utrestart コマンドを使用するか、GUI で「ウォームリスタート」また

S

画面フリッピング	単一ヘッドの Sun Ray DTU の機能。元々マルチヘッドグループにより作成された画面をそれぞれ移動して表示し
サーバー	1 つまたは複数のクライアントにコンピューティングサービスやコンピューティングリソースを提供するコンピ
サービス	Sun Ray Server Software の利用を目的として、Sun Ray DTU に直接接続できるすべてのアプリケーションを指し (Xservers)、その他のマシンへのアクセス、および DTU のデバイス制御などのアプリケーションを利用できます。
セッション	認証トークンに関連付けられる一連のサービス。スマートカードに組み込まれたトークンにセッションが関連付
セッションの可動性	セッションがユーザーのログイン ID またはスマートカード付属のトークンを「追跡」する機能。
スマートカード	一般的に、計算能力を持ったマイクロプロセッサ内蔵のプラスチックカード。Sun Ray セッションの開始、またはセッションへの接続機能を持つスマートカードには、カードタイプや ID などの識別子が含まれる。スマートとカードトークンは、Sun Ray 管理者か、管理者がそれを選択した場合はユーデータストアに登録されます。
スマートカードトークン	スマートカードに含まれる認証トークン。「トークン」を参照。
SNMP	ネットワーク管理プロトコル
スパンニングツリー	ローカルエリアネットワーク (Local Area Network、LAN) において、ブリッジが冗長トポロジをマップし、パケットのループを排除するために使用される、インテリジェ
蓄積交換スイッチ	このスイッチは、着信フレーム全体をバッファに読み込んで格納し、エラーチェックを行い、MAC アドレスを読み取って調べたあと、完全なフレームを出力ポートへ転送する。
サブネット	大きな論理ネットワークを分割することによって形成される小さな物理ネットワークのこと。サブネットに分割
システム	Sun Ray システムは、Sun Ray DTU、サーバー、サーバーソフトウェア、およびこれらを接続する物理ネットワー

T

TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。TCP/IP は、各種のハードウェアアーキテクチャーとオペレー
thin クライアント	コンピューティング能力や大容量メモリーなどのコンピュータサーバーの資源に遠隔アクセスするクライアント。
チック	特定のネットワークイベントが発生する時間間隔。一般的な SNMP 規約では、1/100 秒単位で定義されます。
タイムアウト値	DTU が認証マネージャーと通信できる最大許容時間。
トークン	Sun Ray システムでは、システムおよびセッションへのアクセスを許可または拒否するために認証マネージャーが (または MAC アドレス) が擬似トークンとして代用されます。モバイルセッションが有効な場合、ユーザーはスマートカードを使用せずに「エイリアストークン」も作成できる。
トークンリーダー	スマートカードを読み取り、その識別子を返すための専用の Sun Ray DTU。この識別子は、カード所有者 (ユーザー)
トラステッドサーバー (信頼できるサーバー)	同一のフェイルオーバーグループに属し、互いに「信頼できる」サーバー。

U

URI	Uniform Resource Identifier。World Wide Web 上のオブジェクトを参照する、すべての種類の名前とアドレスを指す一般用語。
-----	---

ユーザーセッション	Sun Ray サーバー上で実行されていて、ユーザー（スマートカードトークンまたは擬似トークンによって識別）がログインしているセッション。
-----------	---

V

VC-1	SMPTE 421M ビデオコーデック規格の情報名。現在はブルーレイディスクと Windows Media Video 9 でサポートされている規格。
仮想デスクトップ	仮想デスクトップインフラストラクチャー内で実行され管理されるデスクトップインスタンスを含む仮想マシン。通常は、RDP 経由でアクセスされる Windows XP または Vista デスクトップ。
仮想フレームバッファ	ユーザーのディスプレイの現在の状態を格納するための、Sun Ray サーバー上のメモリー領域。

W

用語	説明
ウォームリスタート	「リスタート」を参照。
WMA	Microsoft 社によって開発された、Windows Media オーディオデータの圧縮ファイル形式およびコーデック。
ワークグループ	近接した場所で共同作業に携わるユーザーのグループ。Sun Ray サーバーに接続されている Sun Ray DTU のセットによって、ワークグループにコンピューティングサービスが提供されます。
Windows システム	SRWC のドキュメントを通して、「Windows システム」という用語は、SRWC を使用して Sun Ray DTU からアクセス可能な Windows ターミナルサーバーを指します。Windows ターミナルサーバーは、Windows システムの一例です。
Windows ターミナルサーバー	Windows Server ソフトウェアを実行し、Windows ターミナルサービスが有効なサーバー。
Windows ターミナルサービス	Windows アプリケーションおよびデスクトップを、リモートユーザーやクライアントからアクセス可能にするための、Microsoft Windows コンポーネント。Windows のリリースによっては、この機能はターミナルサービス、リモートデスクトップサービス、またはリモートデスクトップ接続と呼ぶ。

X

用語	説明
Xnewt	Solaris 上の Sun Ray Server Software 4.1 およびそれ以降用の新しいデフォルトの Xserve。
Xserver	X ウィンドウシステムで、ビットマップ表示装置を制御するプロセス。クライアントアプリケーションからの要求にしたがって処理を行う。Sun Ray Server Software には、以前のバージョンの SRSS でデフォルトの X サーバーであった Xsun と、SRSS 4.1 以降でデフォルトの X サーバーとして使用されている Xnewt の 2 つの X サーバーが含まれます。Xnewt により、最新のマルチメディア機能が利用できる。

Y

用語	説明
YUV	画像または一連の画像を格納するための、シンプルで劣化のないメカニズム。

Copyright © 2011, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

This software and related documentation are provided under a license agreement containing restrictions on use and disclosure and are protected by intellectual property laws. Except as expressly permitted in your license agreement or allowed by law, you may not use, copy, reproduce, translate, broadcast, modify, license, transmit, distribute, exhibit, perform, publish, or display any part, in any form, or by any means. Reverse engineering, disassembly, or decompilation of this software, unless required by law for interoperability, is prohibited.

The information contained herein is subject to change without notice and is not warranted to be error-free. If you find any errors, please report

them to us in writing.

If this software or related documentation is delivered to the U.S. Government or anyone licensing it on behalf of the U.S. Government, the following notice is applicable:

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

This software is developed for general use in a variety of information management applications. It is not developed or intended for use in any inherently dangerous applications, including applications which may create a risk of personal injury. If you use this software in dangerous applications, then you shall be responsible to take all appropriate fail-safe, backup, redundancy, and other measures to ensure the safe use of this software. Oracle Corporation and its affiliates disclaim any liability for any damages caused by use of this software in dangerous applications.

Oracle is a registered trademark of Oracle Corporation and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

This software and documentation may provide access to or information on content, products, and services from third parties. Oracle Corporation and its affiliates are not responsible for and expressly disclaim all warranties of any kind with respect to third-party content, products, and services. Oracle Corporation and its affiliates will not be responsible for any loss, costs, or damages incurred due to your access to or use of third-party content, products, or services.
